

第4章 キャンパスライフ 奨学金編

東京工芸大学の奨学金・特待生制度

東京工芸大学の奨学金制度は大きく分けて以下の2つの目的に分類されます。

学習奨励	経済的な負担を軽減することにより学習を奨励するもの
学業継続支援	学業の継続が困難な経済的状况に陥った者に対し支援を行うもの

学習奨励型奨学金

奨学金名称	出願資格	選考基準	金額	採用人数	募集時期	備考
野呂奨学金	学術優秀・品行方正及び身体強健であり、経済的理由により修学に困難があると認められる学部生	各学年の平均的な単位数を修得し、かつGPAが原則として2.5以上とする。	15万円 (給付)	若干名	10月～11月	在学中1回
東京工芸大学大学院研究奨学金	本学大学院入試に合格し、入学予定である本学学部4年次生で、研究意欲が旺盛で、人物及び学業ともに優れ、経済的理由により修学に困難があると認められる者	願書、所属研究室教員の推薦書及び面接での評価。原則としてGPA2.5以上とする。	30万円 (給付)	6名以内 (工学研究科4名以内、芸術学研究科2名以内)	11月～1月	在院中1回
工学部同窓会工学部奨学金	人物及び学業ともに特に優秀であり、経済的理由により修学に困難があると認められる3年次・4年次の学部生。特待生制度による特待生との併用は制限しない。	成績及び家計経済状況を考慮して審査するものとする。なお、成績は原則としてGPA2.5以上を応募条件とする。	30万円 (給付)	4名	5月中旬	在学中1回
工学部同窓会工学研究科奨学金	人物及び学業ともに特に優秀であり、経済的理由により修学に困難があると認められる大学院生。 ただし、本学の工学部の卒業生以外の者は、出願時点で工学部同窓会に入会している者、または入会予定の者に限る。特待生制度による特待生との併用は制限しない。	成績及び家計経済状況を考慮して審査するものとする。なお、成績は原則としてGPA2.5以上を応募条件とする。	30万円 (給付)	4名	5月中旬	在院中1回
後援会教育奨学金	学業成績が優秀、かつ特に個性的な人物で、経済的理由により修学に困難があると認められる2年次以上の学部生 (外国人留学生は除く)	各学年の平均的な単位数を修得し、かつGPAが原則として2.5以上とする。	30万円 (給付)	30名以内	6月 11月	在学中1回
後援会留学生奨学金	人物及び学業ともに優秀であり、経済的理由により修学に困難があると認められる学部留学生及び大学院留学生	各学年の平均的な単位数を修得し、かつGPAが原則として2.1以上とする。 仕送りが平均月額90,000円以下であること。または、在日している扶養者がいる場合は年収が500万円未満であること。	30万円 (給付)	学部生： 20名以内 大学院生： 5名以内	10月～11月	在学中1回

※募集時期は予定です。募集についてはコウゲイ.netでお知らせします。必ず確認してください。

学業継続支援型奨学金

奨学金名称	出願資格	選考基準	金額	採用人数	募集時期	備考
緊急支援奨学金	次に掲げる要件を全て満たす者 ・本学の学部及び大学院に在学する正規学生である者 ・授業への出席が良好である者 ・父母若しくはこれに代わって家計を支えている者が、会社の倒産又は解雇等により、無収入に近い状態となり、修学の継続が困難になった者	願書及び面接により判定する。	30万円以内 (給付)	奨学原資の限度内		在学中1回
後援会共済奨学金	連帯保証人の死亡による家計事情の急変で修学に困難であると認められる学部生及び大学院生	願書及び面接により判定する。	年間学納金の半額相当分 (給付)	基金の限度内	事由が発生した月から12ヶ月以内	在学中1回
後援会応急奨学金	連帯保証人の病気療養等の理由により修学に困難があると認められる学部生及び大学院生	願書及び面接により判定する。	50万円以内 (金額は家計状況を考慮し選考委員会において決定) (給付)	基金の限度内		
えんのき奨学金	1 大学に在学する学部生・大学院生で身体健康、勉学意欲旺盛かつ経済的事由により学業を継続することが困難であり、原則として当年度に卒業又は修了が見込まれる学生 2 前項の資格がある者は、日本国籍を持つ者、および、法定特別永住者、永住者、日本人又は永住者の配偶者等、定住者 3 前項の定住者は、永住者若しくは永住者の配偶者等に準ずると大学が認めた者に限り、将来永住する意思のない者は申込資格がないものとする	願書及び面接により判定する。	上限60万円で10万円単位 (貸与)	基金の限度内	前期1回 後期1回 (希望者はお問い合わせください)	在学中1回

相談窓口 

学生課

参考資料 

東京工芸大学奨学金規程 (P.69)

特待生制度

成績が著しく優秀な学生に対し、特待生制度を設けています。

種類	推薦資格	特典
学業特待生 (学部生)	2~4年次の学部生で、前年度終了時における通算のGPAが3.5以上である者(若干名)	当該年次の1年間に限り授業料の半額を免除する
大学院特待生 (博士前期課程)	本学の学部卒業後、大学院博士前期課程に入学した者で、学部時の学業成績優秀・人物が優秀と認められる者(若干名)	2年間授業料の半額を免除する

- 学業成績が著しく低下したとき、または病気・事故以外の理由で休学したとき等は資格が取り消される場合があります。
- 特待生候補者には、当該年度の4月1日以降に郵送にて通知します。

相談窓口 

教務課

留学生対象の奨学金制度

⇒P.21「外国人留学生サポート体制」に記載しています。

教育ローン

日本政策金融公庫の教育ローンと民間金融機関の教育ローンがあります。
問い合わせ先

日本政策金融公庫 教育ローンコールセンター	☎0570-008656 https://www.jfc.go.jp/n/finance/search/ippan.html
三井住友銀行 国内全店 (統括店) 厚木支店	厚木支店 ☎046-224-3731 (東京工芸大学の学生であることを伝えてください。)
楽天銀行 カードセンター 教育ローン専用ダイヤル	☎0120-61-6910 (フリーダイヤル) https://www.rakuten-bank.co.jp/loan/education/
オリエン特コーポレーション 学費サポートデスク	☎0120-517-325 (フリーダイヤル) http://www.orico.tv/gakuhi/

学外の奨学金制度

日本学生支援機構 貸与型奨学金

日本学生支援機構の奨学金貸与事業は意欲と能力のある学生が、経済的に自立して自分の意志と責任において高等教育機関で学べることを目的として、実施されています。申し込みができる奨学金の種類は、第一種(無利子貸与)奨学金と、第二種(有利子貸与)奨学金です。

		第一種(無利子貸与)	第二種(有利子貸与)
申込資格	学部	正規生であり、経済的理由により修学に困難があると認められる人 ※外国籍の人は、在留資格等によっては申し込みができない場合があります。	
	大学院(博士前期) 大学院(博士後期)	高度の研究能力を有し、経済的理由により修学に困難があると認められる人 ※外国籍の人は、在留資格等によっては申し込みができない場合があります。	
学力基準	学部1年次 学部2年次以上	高等学校の評定平均値が3.5以上 成績が所属学部の上位1/3以内	出身学校における成績が平均水準以上等 在籍する学校における成績が平均水準以上等
	大学院(博士前期)	大学等・大学院における成績が特に優れ、将来、研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を備えて活動することができることと認められること	大学院における学修に意欲があり、学業を確実に修了できる見込みがあると認められること等
	大学院(博士後期)	大学・大学院における成績が特に優れ、将来、研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するために必要の高度の研究能力を備えて活動することができることと認められること	
家計基準	希望する奨学金種別、収入形態、通学形態、世帯人員等によって異なる		
貸与月額	学部	自宅:2万円、3万円、4万円、5万4千円 自宅外:2万円、3万円、4万円、5万円、6万4千円 ※最高月額は、併用貸与の家計基準に該当する場合のみ利用できます	2万円~12万円(1万円単位で選択)
	大学院(博士前期)	5万円、8万8千円	5万円、8万円、10万円、13万円、15万円
	大学院(博士後期)	8万円、12万2千円	
募集時期	春・秋(募集がある場合、コウゲイnet等で告知します)		

高等教育の修学支援新制度(授業料減免・給付奨学金)

しっかりとした進路への意識や進学意欲があれば、家庭の経済状況に関わらず、進学し学ぶことができるよう2020年4月から高等教育の修学支援新制度が始まりました。支援内容は「授業料等減免(入学金含む)」と返還の必要のない「給付奨学金」の拡充の2つです。

申込資格	学業成績等に係る基準や家計(所得金額・資産)に係る基準、及び高等学校等卒業から入学までの期間や在留資格等に関する要件を満たす人(大学院生は対象外です)		
学力基準	学部1年次	・高等学校等における評定平均値が3.5以上であること ・将来、社会で自立し、活躍する目標を持って学修する意欲を有していることが、学修計画書等により確認できること	
	学部2年次以上	・GPA(平均成績)等が在学する学部等における上位1/2の範囲に属すること ・修得した単位数が標準単位数以上であり、かつ、将来、社会で自立し、活躍する目標を持って学修する意欲を有していることが、学修計画書等により確認できること	
家計基準	収入基準	【第I区分】本人と生計維持者の市町村民税所得割が非課税であること 【第II区分】本人と生計維持者の支給額算定基準額の合計が100円以上25,600円未満であること 【第III区分】本人と生計維持者の支給額算定基準額の合計が25,600円以上51,300円未満であること 【第IV区分】本人と生計維持者の支給額算定基準額の合計が51,300円以上154,500円未満であること	
	資産基準	生計維持者の人数が2人の場合の基準額 (本人と生計維持者の資産額の合計)	2,000万円未満
		生計維持者の人数が1人の場合の基準額 (本人と生計維持者の資産額の合計)	1,250万円未満
支援金額	※金額は第I区分のもの。第II区分はこの2/3、第III区分はこの1/3、第IV区分はこの1/4です。 【給付奨学金】自宅通学:月額38,300円/自宅外通学:月額75,800円 【授業料等減免】入学金:250,000円 授業料:700,000円		
募集時期	春・秋(募集がある場合、コウゲイnet等で告知します)		

※2024年3月時点の情報です。詳細は日本学生支援機構もしくは文部科学省のウェブサイトをご確認ください。
 ※「授業料後払い」制度(大学院博士前期課程)については、日本学生支援機構のウェブサイトを確認のうえ学生課にお問い合わせください。
 ※学外の奨学金は上記以外に地方自治体、財団法人・民間企業が実施している場合がありますので各自、地方自治体、財団法人・民間企業が運営しているウェブサイトなどをご確認ください。

その他の学外奨学金について

学外には多くの奨学金があります。本学あてに募集案内が届かないものが殆どです。紹介サイトは一例ですが、奨学金利用を希望する学生は参考にしてください。

「ガクシー」

※ガクシーとは、日本にあるほぼ全ての奨学金を網羅した国内最大の奨学金サイトです。



URL:gaxi.jp

相談窓口

学生課